

学生担当者報 Vol.334 12

発行/天理教学生担当委員会 発行責任者/吉川万寿彦 編集責任者/松村孝吉
[TEL]0743-63-1511 (内線5817) (直通) 0743-63-2489 [FAX]0743-62-5780
[E-Mail]tsa@tenrikyo.jp [TSA website]http://tsa.tenrikyo.or.jp

立教177年
平成26年11月25日発行

お知らせ

十二月例会

- ・期日 立教177年12月25日
- ・時間 15時半受付、16時開始
- ・場所 教庁4階講堂

学生層育成者講習会

- 日程・会場案内
- 【教区】
- ・北海道 12月6日14時半〜 教務支庁

報告

十月例会

去る10月25日、南右第2棟陽気ホールに於いて「十月例会」を開催。出席は41教区、108直属。

各地の動き

- 【教区学生層育成者講習会】
- ・滋賀 10月2日11時〜 62名
吉川委員長出向
- ・岡山 10月2日11時〜 80名
福江委員出向

人事

- 《立教177年10月25日》
- 【直属学生担当委員長辞令交付】
- ・土屋道直（佐野原・北安東）
- ・大倉光晴（本愛・本一心）

業務記録

- 《立教177年10月16日〜立教177年11月15日》
- 10月17日 高校卒業生育成会議
- 18日 事務局連絡会
- 22日 『Happist』納品
- 23日 『Happist』梱包
- 24日 海外学生層育成者懇談会
- 25日 委員会
- 天理教学生会
創立50周年記念式典
- 例会
- HARP勉強会
- 広報室会議
- 26日 ビデオチーム会議
- 27日 出版部部会
- 28日 研修会チーム会議
- 29日 学生連絡会
- 屋内プログラムチーム会議
- 11月1日 つくし会秋合宿（〜2日）

学生に信仰を伝えるツール



以前、ある先生が「高校生を相手に会話をするならば、AKB48のメンバーを最低十人は覚えなさいといかない」という意味のことを仰いました。

私も学生担当者、これは何とか覚えようと努力したのですが、なぜか私が覚えたメンバーに限って「卒業」と称して辞めてしまい、なかなか十人も覚えられないのが現状です。高校生はメンバーが入れ替わっても覚えていくのでしょうか、それにしてもしアイドルグループからメンバーが脱退することをなぜ「卒業」と言うのでしょうか。「脱退」よりも「卒業」という言葉の持つニュアンスが、高校生には身近で受けがいいように感じるのでしょうか。

また、学生担当者たるものはスマートフォン（スマホ）を持っていないと学生についていけないことも現状です。私はかたくなにガラパゴス携帯（ガラケー）で通ってききましたが、やはり学生と目線を合わせることに

も大事だと考えるようになりました。しかし、スマホはガラケーに比べて料金が高いです。そこで何とか安くできる方法はないかといういろいろ調べてみましたら、月々千円くらいで通信だけできる格安SIMカードがあり、さらに通販で型落ちの安いスマホを購入すれば費用が抑えられることが分かりました。そこで財布を握っている妻を説得し、私も遅ればせながらスマホデビューをしました。

まずは学生とのやりとりで必須のLINEというアプリをダウンロード。しかし使い方が全く分からなかったのです、ある学生に教えてもらいながら何とか送受信はできるようになりました。すると驚いたことに、それまでメールをしても、電話の着信履歴や留守電にメッセージを残しても、全然連絡がつかなかった別の学生が、LINEには必ず返信することが分かりました。ポケベルの時代を経て通話とメールがメインの私には隔世の感を禁じ得ませんでした。

さて、学生と目線を合わせることに

出版部 委員

辻 雄二郎

もさることながら、学生担当者として大事なことはあくまで信仰を伝えることです。AKB48の話題やスマホで学生と目線を合わせ、距離を縮めることはできますが、それだけでは信仰は伝わりません。

そこで学生に信仰を伝えるツールの一つとして『Happist』があります。『Happist』は高校生、大学生向けの教内誌で、毎月の特集や漫画、心理テストや「らんだむくらぶ」という投稿ページなどが学生に親しみやすい内容になっています。さらに私がお勧めしたいのが「教理コーナー」。『教祖伝』を引用しながら教祖の教えを分かりやすく解説し、まさしく学生にストレートに教理を伝えるページとなっています。もちろん担当者が読んでも「なるほど!」と思える内容です。『Happist』を通して学生と信仰談義ができるようになれば理想ですが、まずは『Happist』を届けることが第一です。『Happist』を教祖と学生の橋渡しの上に共に活用していきましょう。



- 5日 高校卒業生育成会議
- 6日 高校卒業生育成会議
- 10日 学生連絡会
- 11日 学生部部会
- 13日 教祖130年祭学生おちびがえり大会
プロジェクト会議
- 春学プロジェクト会議
- 屋内プログラムチーム会議
- 屋外プログラムチーム会議
- 14日 ビデオチーム会議
- 15日 学修大学の部研究室会議
担当者活動部部会

立教177年 学生担当委員会 活動方針
『おたすけの喜びを学生に!』～あらかとうりよう・みちのだいとして共に育とう～

立教177年 天理教学生会創立五十周年 記念式典 開催報告

去る十月二十五日、おやすとやかた南右第二棟陽気ホールなどを会場に、天理教学生会創立五十周年記念式典を開催し、学生二百九十一名、担当者ら三百二十三名の合わせて六百十四名が集まりました。

開会の挨拶に立った天理教学生会大瀬委員長は、「学生会があることで、お道につながる人がたくさんいると思う。そんな学生会が存在するのも、五十年前に苦労の中を発会してくださり、これまで一年一年をつないでくださった先輩方のおかげである。私たち一人ひとりが将来のお道を引っ張っていけるよう、今一度、有為なるよう、よくになるという学生会発会の思いに立ち返った活動を心掛けよう」と参加者に呼びかけました。

続いて、表統領上田嘉太郎先生は祝辞の中で、学生会名誉会長でもあられた三代真

柱様がお示しくくださった学生会のあり方、
①道を求める心を第一にしてもらいたい、
②勉学をおろそかにしてはならない、③自分を伸ばす努力を続けてもらいたい、④お道の旬の動きに沿って動く。について言及され、「教祖百三十年祭に向かう今の旬、学生だからできるおたすけがたくさんある。元気があって柔軟性があるみなさんに、内外ともに厳しい状況に風穴を開けてくださるような、頼もしい働きを期待したい」とお話しくださいました。

さらに学生担当委員会吉川委員長より、「教祖百三十年祭に向かって心新たに一手一つに突き進み、その二ヶ月後の学生おぢばがえり大会には道につながる学生が一人残らずおぢばへ帰ってもらえるよう、勢いをもって共に頑張ろう」と激励の挨拶がありました。その後、「天理教学生会五十年の歩み」

てその勢いを絶やすことなく、動員一人一人という大きな目標を掲げた大会へ進んで行く」と締めくくり、最後に全員で「教祖百三十年祭の歌」を歌って記念式典は幕を閉じました。

休憩を挟んで、本部員富松幹禎先生（学生会初代委員長）の記念講話を拝聴しました。

富松先生は、学生会発足にあたって学生たちが熱意を持って奔走した当時の様子を話され、「一年サイクルでメンバーが代わる学生会では、リーダーは常に自分が物事を始めるんだという気持ちが大切。そして学生の魅力である、声を掛け合って人を集める動員力を発揮し、お道に大きな活力を生み出してもらいたい」と述べられました。最後におたすけの具体的なあり方を示し、実動を促されて、講話を締めくくられました。

その後学生たちは、グループに分かれて、記念式典や富松先生の講話を振り返り、最後は西礼拝場にて夕づとめ参拝、自分のできるおたすけの実動を誓い合いました。発足から五十年を迎えた学生会。昨年



を上映。学生会創立当時の様子や年祭中の活動の様子などの映像を見ながら、学生会のこれまでの歩みを振り返りました。

次に、二人の学生（大阪教区学生会委員長・北村雄太君、河原町学生会前委員長・平野琳太郎君）が壇上に立ち感謝。それぞれが教区学生会、直属学生会の活動で味わった感動とおたすけの喜びを参加者に熱く語りかけました。

会場が熱気に包まれる中、「教祖百三十

教区学生会、直属学生会が天理教学生会という同じ傘のもとで活動するようになりました。今後、教区と直属、そして親里管内の学生たちが連携を取り合い、より多くの学生がお道の教えに触れ、教会につながり、有為なるよう、よくに育つための会となるよう、更なる発展が望まれます。

四ヶ月後に控える「立教百七十八年春の学生おぢばがえり」、そして参加者一人一人という大きな目標を掲げた「教祖百三十年祭学生おぢばがえり大会」は、学生会と学生担当委員会がしっかりとスクラムを組んで進んでこそ大きな実りが頂けるものだと思えます。おたすけの実践が強く促されている年祭の旬、お道につながる学生に一人残らずおぢばへ帰ってもらえるよう、我々担当者も自らがおたすけの実践をするともに、学生会スタッフとも心を通わせ、精一杯支えていきたいと考えております。どうか、共に活動いただきますようよろしくお願い申し上げます。

立教百七十八年 春の学生おぢばがえり

動員。ハツク ダイジエスト

「動員パック」とは、「立教百七十八年春の学生おぢばがえり」の団体参加や行事に関する各種提出書類を一つにまとめたものです。各教区・直属学生担当委員会、及び各教区学生会に一部ずつ配付いたしますので、学生と相談の上、計画をお進めください。尚、提出書類は昨年と異なる部分もありますので、「動員パック」を熟読の上、漏れ落ちや間違いのないようお気をつけください。また、各提出書類は締め切り日が異なります。締め切り日を確認の上、遅れることのないよう、ご提出ください。今後、学生担当委員会例会において「動員パック」を基に説明をいたしますので、毎月必ずご持参ください。尚、提出書類は次の通りです。

■式典関係提出書類

◇パイプ椅子拭き申込書 一月二十五日〆切
式典参加者が快適に座っていただけるよう、露で濡れたパイプ椅子を布巾で拭くひのきしんです。希望される団体はご提出ください。

■団体参加関係提出書類
◇参加票申込書 一月二十五日〆切
希望枚数を記入してご提出ください。二月二十五日例会にて参加票を配付いたします。

◇模擬店チケット申込書 三月十五日〆切
後夜祭「春まつり」の模擬店は全店舗チケット制です。当日会場内にチケット販売所を設けますが、混雑を避けるため各参加団体は事前にチケット購入枚数をお申し込みください。
(FAX可)
◎一枚五十円・一人二百円分まで
◎チケットは三月二十七日の受付時、代金と引き替えにお渡しします。

◇団体計画書 二月二十五日〆切
団体での参加を予定している教区・直属は必ずご提出ください。

◇本部食堂食事申込願 二月二十六日〆切(信者部運営課)
本部食堂での食事を申し込まれる場合は、直接信者部運営課へご提出ください。
(FAX不可)

パイプ椅子拭きをしていただく団体が決定次第、実行委員会より代表者へ連絡いたします。

■後夜祭「春まつり」関係提出書類

◇模擬店出店申込書 一月十日〆切
出店は八十店舗までとします。多数の申し込みが予想されますので、期日は必ず守るようにしてください。尚、模擬店を出店される団体は、後夜祭「春まつり」の警備担当者を一名選出していただきますよう、お願いいたします。詳細は「動員パック」にてご確認ください。

一月二十五日の例会後に出店場所抽選会を行います。また、申込数が予定店舗数を超えた場合には、出店場所の抽選を行う前に出店団体の抽選をいたします。店舗場所の発表は、二月二十五日発行の「引率のしおり」に掲載いたしますので、そちらをご確認ください。

出店説明会を二月二十五日例会後に行います。責任者・担当者(もしくは代理人)は必ずご出席ください。欠席の場合は出店できなくなります。

食券の受取なども運営課が窓口になります。

学生担当委員会事務局並びに学生会では取り扱いませんのでご注意ください。願書には教区・直属担当委員長の職印が必要です。(職印の無い場合は、学生担当委員会事務局までご相談ください)

◇配付資料希望数記入用紙 三月二十七日提出
三月二十七日の受付で、春学関係の資料を配付いたしますので、二十八日から参加の学生も含んだ数をご記入の上、ご提出ください。

◇団体参加報告書 四月二十五日〆切
参加者より回収した参加票をもとにして、参加者数・別席者数・参加者集計を記入してご提出ください。

■教区関係提出書類

◇本部施設使用申込書 一月二十五日〆切
教区行事などで本部施設の使用を希望される場合は、責任の所在を明確にする上から、開錠から施錠までの責任を持てる当日の会場引率責任者(担当委員)を必ず書類に明記してください。学生会員のみ借用はできません。

◇模擬店CM応募用紙 二月二十五日〆切
模擬店CMを春まつり会場内特設スクリーンで上映します。希望する模擬店出店団体は、ビデオを製作してお申し込みください。(a.v.形式のみ)。実行委員会で選考の上、上映させていただきます。(可否の連絡はいたしませんので、ご了承ください)

◇ステージ出演申込書(音楽部門)

パフォーマン部門) 一月十日〆切
ステージでは、道につながる学生の出演者を募集します。音楽部門はバンド・ヴォーカル・弾き語り、パフォーマンス部門にはダンス・漫才・コントなどを含みます。どちらの部門も申し込みの際、ビデオ映像(a.v.形式のみ)の提出が必要です。

また、音楽部門は加えて録音テープ(CD・MDのいずれか)の提出もお願いします。申し込み締め切り日は、特にご注意ください。出演は選考の上、一月例会にて連絡いたします。

行事内容・使用人数等により、実行委員会で使用施設を割り振りいたします。申し込み多数の場合には申し込み順とさせていただきます。尚、引率責任者の方は、施設使用の説明会を二月二十五日例会後に行いますので必ずご出席ください。欠席の場合は施設借用ができなくなります。

■直属関係提出書類

◇直属アワー計画書 二月二十五日〆切
裏面に参加人数と別席者数の欄がありますので、忘れずに記入してください。

■本部施設使用団体及び

模擬店出店説明会について
二月二十五日例会終了後、本部施設使用及び模擬店出店にあたっての説明を行います。各責任者・担当者出席できない場合は代理者は必ずご出席ください。欠席の場合は施設使用、模擬店出店ができなくなりますのでご注意ください。
模擬店出店団体の衛生責任者には、翌、二月二十六日に検便を提出していただきます。

立教178年 春の学生おぢばがえり スケジュール

月	行事予定	★…提出書類締切	○…受け取り
11	25日 学生担当者大会	○動員パック	(25日)
12	13日 冬期直属学生リーダー講習会(14日まで) 23日 冬期教区学生リーダーの集い(25日まで) 25日 例会 お願いづとめ		
1	4日 おせち学生ひのきしん隊(7日まで) 25日 例会 模擬店抽選会	★ステージ出演申込書 ★模擬店出店申込書 ★パイプ椅子拭き申込書 ★参加票申込書 ★本部施設使用申込書[教区]	↑ (10日) ↓ ↑ (25日) ↓
2	25日 例会 模擬店説明会 本部施設使用説明会[教区]	○引率のしおり ★団体計画書 ★直属アワー計画書[直属] ★食材調査書 ★模擬店CM応募用紙 ★本部食堂食事申込願 (26日…信者部運営課へ)	↑ (25日) ↓
3	3日 学生生徒修養会 大学の部(9日まで) 25日 例会 28日 立教178年 春の学生おぢばがえり	★模擬店チケット申込書 ★参加票・配布物希望数記入用紙 ○後夜祭チラシ ○教区からの参加票[直属] ○模擬店チケット ★模擬店出店報告書	(15日) ↑ (27日) ↓ (28・29日)
4	25日 例会	○直属からの参加票[教区] ★団体参加報告書 ★直属アワー報告書[直属] ★担当者アンケート	↑ (25日) ↓

立教178年 春の学生おぢばがえり プログラム

3月27日(金)	<p>◆受付◆ 場所: 春の学生おぢばがえり事務所(旧本部詰所) 時間: ●教区・団体参加の直属 ⇒15時～18時15分 ●団体を組んでいない直属 ⇒夕づとめ後～21時 ※必ず時間内にお越しください。 ※直属の方は、夕づとめ後～21時の間にも、教区から提出された参加票を受け取りにお越しください。</p>
3月28日(土)	<p>◆式典◆ 時間: 9時(開場8時)～10時15分頃 場所: 本部中庭 内容: ・真柱様お言葉 ・よろづよ八首奉唱 ・春の学生おぢばがえり実行委員長挨拶 ・決意表明 ・道の学生の歩み ～明日への扉～ ・「希望の花」斉唱</p>
	<p>◆直属アワー◆ 時間: 11時～15時30分 会場: 各信者詰所(原則として) 内容: ・直属教会長お話 ・学生の交流</p>
	<p>◆別席◆ 受付時間: 12時～13時30分 受付場所: 東左第1棟1階</p>
	<p>◆夕づとめ◆ 時間: 18時30分</p>
	<p>◆後夜祭『春まつり』◆ 時間: 夕づとめ後(19時)～21時頃 会場: 東西泉水プール前広場 内容: ・模擬店 ・ステージショー</p>

立教178年 学生生徒修養会 大学の部

募集要項

- ▽ 期 間 …… 平成27年3月3日(火)～3月9日(月)
- ▽ 受講資格 …… ①平成27年1月8日現在、大学・短期大学・大学院・専門学校
高等専門学校(4年生以上)に在学している者。
②全期間を通して受講できる者。
- ▽ 募集人員 …… 700名(男子350名、女子350名)
- ▽ 内 容 …… 講義、グループワーク、にをいがけ、ひのきしん、修練(おつとめ勉強)など。
期間中に別席を1席運べる日を設けます。
- ▽ 集 台 …… 3月3日正午から12時30分までに指定された宿舎に集合してください。
- ▽ 解 散 …… 3月9日 午前10時頃、各宿舎にて
- ▽ 受講御供 …… 8,000円 所属の詰所(直属学生担当委員会)に納めてください。

申し込み方法

- ▽ 申込方法 …… 下記の書類を整え、最上級教会長の署名・捺印をいただいた後、
学生担当委員会事務局に申し込んでください。
・受講願書1通 ※特に学年の記入間違いのないようにお願いいたします。
・返信用封筒1枚(住所、氏名、郵便番号を記入し、82円切手を貼付してください)

- ▽ 受付期間 …… 平成27年1月8日～2月25日
(事務処理の関係上、願書はなるべく2月15日までに提出してください)

※ 受講にあたっての詳細及び必要事項は、2月15日以降、書面にて随時本人に郵送いたします。また、TSA websiteでも詳細、必要事項が確認できますのでご利用ください。

※ 受講願書は学生担当委員会、各教務支庁にあります。

問い合わせ先

天理市守目堂町213-4 おやさとやかた真南棟3階 学生担当委員会事務局
《郵便》〒632-8790 天理郵便局私書箱1号
《電話》0743-63-2489(学生担当委員会事務局直通) / FAX 0743-62-5780

主催・・・天理教教会本部 事務局・・・天理教学生担当委員会

海外学生層育成者懇談会 開催報告

十月二十四日、おやさとやかた真南棟に於いて、学生担当委員会では初の試みとなる「海外学生層育成者懇談会」を開催しました。

「海外における人材育成の状況を聞かせていただいた上で、学生担当委員会として何かしら協力できることがないだろうか」と考えた吉川委員長の思いをもとに、伝道庁・出張所の海外十二拠点ならびに海外部各課の代表者など三十名が集まりました。学生担当委員会の活動内容の説明に引き続いて、海外における人材育成の一つの方法として、「まなびば」プログラムが使えるのではないかとということから、その活用について質疑を重ねました。

始まり、だんだんと熱を帯びていきました。人材育成の必要性やおちばで開催される行事、さらには、おちばから現地へのバックアップに関する話題へと発展していききました。そして、話し合いの中から、今まで学生担当委員会の培ってきたノウハウが、文化や学生層を取り巻く環境が異なる海外では、そのまま活用できるとは限らないことが分かりました。しかし、それぞれ地域の現状に合わせて形を変えることで、少しでも活用してもらえるように、海外部・各拠点と学生担当委員会が手を取り合って相談を重ねていく方向に話が至りました。今回の懇談会は、今後、海外部・各拠点と学生担当委員会がより密接な協力体制を築いていくための、大きな一歩となりました。

青空

父から虐待されていたA君に対し、「虐待されていた時、お母さんには言わなかったの？」と尋ねたら、「言わなければ分かってもらえないの？」とA君。私はこの言葉の重みに心が痛くなった。

先日、中学2年生のB君が、「おっちゃんには言うけど、この前C君の家に何人か集まってタバコを吸ってたら、その一人がC君の家の寝具にライターで火を付けたんや」と話してくれた。その時、偶然C君が来た。「おいB君、なんで言うねん!」「おっちゃんにはええねん。なんでも言うてええねん」とB君。「そうなんや。C君にとつて悪いようにはしないよ」と私が言い、少しの時間であったが3人でこのことを話し合った。

最後に、私がB君に「B君は大丈夫か? 被害に遭わないか?」「うん、俺は大丈夫。何かあったらおっちゃんに言うし」と言うので少し安心した。しかし、B君が言わなくても気づいてあげられるよう、ぼくでありたい。

私たちは教師でも警察でもない。少年から見れば何の権限もないただの大人である。そんな私ではあるが「危ない道をさまよいかねない少年を守り、真実の道に導きたい」と願うばかりである。

元学修部部長 吉川博久

『立教178年 春の学生おぢばがえり』お願いづとめについて

『立教178年春の学生おぢばがえり』が無事に開催できるよう、また一人でも多くの友とおぢばに帰り集えるよう、学生と担当者の方々と共に心をついに揃えて、お願いづとめをつとめさせていただきます。

お忙しい中とは思いますが、下記の通り、お集まりくださいますようお願いいたします。

日時：12月25日（木） 本部夕づとめ後（17時30分頃～）
 場所：東礼拝場
 対象：教区学生会、直属学生会、管内学生、担当者

「まなびば」開催会場一覧 《12月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者	電話番号
岩手	12月6日10時～7日10時	教務支庁	権谷	
鳥取	12月6日13時～7日15時	教務支庁	岸本	
島根	12月6日13時～7日13時	教務支庁	水	
佐賀	12月6日14時～7日14時	教務支庁	礪部	
鹿児島 (大島支部)	12月6日13時～7日13時	大島分教会	加世田	
※愛知	12月23日12時～24日16時	東愛大教会	鈴木	

※尾張・東西三河ブロック

☆実施計画書は2ヵ月前までに提出ください。

Happist 1月号 予告

【特集】「夢」の話をしよう インタビュー
 天理大学人間学部 人間関係学科臨床心理専攻教授 高月 玲子

連載

- ・教理コーナー
おやさまのお言葉を身近に 中山 慶治 (本部員/本明實分教会長)
- ・輝く生き方見つけよう
Key Person ロボットクリエイター **古田 貴之** (千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター所長)
- ・信仰エッセー
明日の地図ひろげて 永尾 真理子 (本部婦人)
- ・マンガ
空色カレイドスコープ ニシカワヨウコ



個人宅に直接Happistが届く個人購読も行ってあります。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

※内容は一部変更になる場合があります。

教祖130年祭学生おぢばがえり大会



「希望の花」

作詞 松本春香
 作曲 後藤朋子

ぼくがであつたこの親里で 希望の花が咲き誇る
 飛行機雲が浮かぶ青い空
 隣には君の輝く笑顔
 不安だって風に乗ってどこかへ飛んでいった
 僕にできることはきっと
 とてもとても小さなことだけど
 君がいたから歩き出せた
 僕らが出会ったこの親里は いつでも明るい太陽がある
 だから心は晴れわたる
 みんな支えあって生きている

夜空に瞬く星のように
 僕にはたくさんの仲間がいる
 喜びは分かち合い 悲しみは喜びになるんだ
 見渡してごらんよほら
 君の隣に仲間がいるから
 みんなで手を取り歩き出そう
 僕らが出会ったこの親里は 未来へ導く風が吹く
 迷うことなどきかない
 一緒に掴もう明日への鍵を
 僕らが出会ったこの親里で 希望の花が咲き誇る
 色とりどりの花びらが 空高くへと舞い上がる
 LaLaLa～
 これから続く旅路への僕らの向かう道しるべ
 僕らの向かう道しるべ

天理教学生会 websiteにて、
 「希望の花」のダウンロードが可能です。
 ダウンロード先はこちら
 ↳ <http://tsa.tenrikyo.or.jp>

～作詞・作曲者の声～

初めて学生会と関わりを持ったのは、高校1年生になる年の「春の学生おぢばがえり」でした。ここでの出会いが、学校の友達にも自分が天理教を信仰しているということ自信を持って話すことができるようになり、お道の仲間という自分の中で輝くものと出会えたきっかけになりました。たくさんの思い出が詰まった学生生活を終えたこの年に、自分が最高の学生生活を送ることができた感謝の気持ちと次に続く学生たちへのエールを込めてこの歌詞を書きました。

「学生会のおかげで毎日が楽しい。私の家が教会でよかった」そう話す娘は学生会で素敵な仲間との出会いがあったそうです。3人の子どもが勇んで学生会の行事に参加している様子に喜びを感じ、子どもの大切な居場所が学生会である事に感謝しています。また以前、夫である会長が学生担当委員会の本部スタッフをさせていただき、お世話になったということから、私自身も大好きな音楽で学生会と関わりが出来たらうれしいなと思い、曲を作りました。

湖國分教会（湖東）ようぼく
 滋賀教区学生会 元スタッフ

和勝分教会（中河）会長夫人